

## 渋谷大使挨拶

(2021. 03. 08 天皇誕生日記念式典)

### 1 天皇誕生日

●現下の状況下でこれだけの皆さんにお集まりいただいたことにまずもって感謝申し上げます。

●日本のナショナルデーである天皇誕生日は2月23日であったが、チリでは夏休みのため、毎年3月上旬にレセプションを開催している。いつもは公邸で多くのゲストをお招きし、飲み物、食べ物をたくさん用意しておもてなしをするが、本年はコロナの影響で、世界各地の日本大使館で式典、レセプションを中止する事態となっている。幸いにもチリでは、このような会合の開催に関する保健省の基準が明確であるため、基準に従い、公邸ではなく大使館で、規模を大幅に縮小して開催することとした。

●日本のナショナルデーにあわせて、チリの各界で要職にある方々を一堂にお招きし、日チリ関係の深化に向けた日本大使としての考え方を直接お伝えし、意見交換させていただくことは大使館として最重要な取り組みであり、大使館員が知恵をしばって今回の設営をした。

●天皇陛下は、2019年5月に即位され、先月の誕生日で私と同じ61歳になられた。即位されて3年目に入られるが、災害やコロナで厳しい状況にある国民へ寄り添う取り組みを熱心にされている。また、日本と各国との友好親善関係のためにもご尽力されている。

### 2 チリの印象

●本使は昨年9月末に着任。その後5か月、大使としての活動に制約があるのは事実であるが、諸外国と比較すると、チリ保健省の基準は極めて明確で、基準を順守しつつ、必要な活動を行えていることに深く感謝したい。また、大統領のリーダーシップの下、ワクチン接種が世界でもトップクラスの規模で順調に進んでいることに深く敬意を表したい。

●日本としても、チリに対して4.6億ドル相当の医療機材供与を行うこととしたところであり、近いうちに最初の積み荷が届くところ。

●本年、チリでは国政・地方選挙と新憲法制定プロセスという重大な行事が行われる重要な年となる。この重要な年に、日本大使として、日チリ関係の一層の進展に向けて活動できることを喜んでいる。

### 3 日本外交と日智間の絆の強化

●日本とチリはともに太平洋を挟んだ隣人であり、来年は国交125周年を迎える。両国関係は、2018年戦略的パートナーシップに格上げ。

●日本もチリも、それぞれの地域においては先進的な立場にあるが、米中という超大国の双方と経済関係が深く、双方と上手に付き合っていく必要があるという点でよく似ている。そのような中、米がTPPから離脱した後、チリと日本が出した方向性が、多様性の受け皿となる新しい経済圏を作ろうというもの。それがTPP11である。本使自身が深くかかわってきたということもあるが、本日3月8日はサンティアゴでのTPP11署名から三周年の節目の日。TPP11は、チリと日本が文字通り主導したもので、英国が新たな参加表明をし、中国などが参加への関心を示す中で、この新たな経済圏をどう拡大していくか、という議論に加え、TPP各国ではコロナ対応での協力など、日常的にコミュニケーションを取り合っており、まさに「パートナー」としての関係を日々深化させている。日本政府としては、TPP議長国として、チリが一日も早く正式な締約国（party）となって、我が国と真のパートナーとしての連携を深化させつつ、TPPをより大きな「極」（かたまり）にしていくために一緒に取り組んでくれることをTPP議長国として心の底から願っている。

●日本政府は、安倍前総理の頃から、「自由で開かれたインド太平洋」の実現を外交の大きな柱としている。これは、ある特定の国を排除するとか、何らかの陣営を作るといったものではない。むしろそうならないように、日本が重視するのは、法の支配を含むルールに基づく国際秩序の確保、航行の自由、紛争の平和的解決、自由貿易の推進、という基本的価値であることを宣言し、そうした価値を共有してもらえるのであれば、日本はいずれの国とも協力していく、というメッセージである。TPPの価値もそこにあるということを認識したことで、「基本的価値の共有」というコンセプトを外交の基本方針に据えたものであることを、ぜひ理解していただきたい。

●現在の菅総理は、デジタル化と気候変動対策を政策の最重要課題と位置付けており、これはまさにチリのアジェンダと一致する。両国にとりこの分野での協力は、今後の日チリ関係進化の大きな推進力になる。海底ケーブル、5G、グリ

ーン水素など、本年は具体的な分野での協力を強力に進めたい。5Gについては、今月、日チリ間でワークショップが開催される予定（←要確認）で、こうしたことを皮切りに新たなステージに向けた取り組みを模索していきたい。

●本使としても、両国間の相互理解増進のため、交流を広げ、発信を強化したい。

#### 4 締め

●このあと、ゲストからいくつかお言葉を頂戴したのち、公邸シェフが皆様のために用意した和食や、日本から取り寄せた日本酒や日本版ピスコともいえる「泡盛」などの飲み物も用意しているので、どうぞ味わっていただきたい。

●最後に、天皇皇陛下ご一家の一層のご健勝とご皇室の繁栄、そしてご列席の方のご健勝を祈願。